

事業者向け 児童発達支援自己評価表

公表:令和5年5月17日

アンケート期間:令和5年4月17日~4月21日

事業所名 にじいろデイズ市川新田

従業者数(10) 回収数(10:割合100%)

		チェック項目	はい	どちら とも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	10	-	-	十分なスペースが確保出来るように利用人数を調整しながら実施している。
	2	職員の配置数は適切であるか	8	2	-	人員配置基準よりも多く職員配置をし、マンツーマンに近い形を取れるようにしている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6	4	-	建物入り口に段差があり、ベビーカー等で入りにくい。 大変な際には職員にお声掛けください。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	10	-	-	毎日清掃・消毒を実施し、常に環境整備を実施している。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	10	-	-	-
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	10	-	-	-
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9	1	-	年に1回、自己評価を実施している。 また、実施した内容をホームページにて開示している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	-	5	5	定期的な第三者による外部評価の実施を検討する。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	4	1	・事業所内研修のみではなく、外部研修にも参加している。 ・正社員だけでなく、パート職員も研修に参加する機会がある。
適切な 支援の 提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	10	-	-	-
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	3	-	-
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	10	-	-	児童発達支援計画を作成するにあたり、実際に子どもの支援に携わる職員とお子さんの様子を話し合いながら必要な支援内容を設定している。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	9	1	-	児童発達支援計画に基づき、支援内容を検討し課題設定や週案作成に取り組んでいる。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	10	-	-	定期的に会議をし、プログラムを立案している。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	10	-	-	月案・週案等を用いて活動内容が重複しないようにしている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	6	4	-	各職員からの聞き取りを実施し、偏りがないように努めている。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	10	-	-	毎朝、朝礼を行い支援の内容や要点を伝え合っている。
18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8	2	-	レッスン終了後、毎回振り返りを行っている。	

	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	2	-	引き続き記録の内容を共有し、支援の改善につなげていく。
	20	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	10	-	-	-
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最も心ざわしい者が参画しているか	10	-	-	児童発達支援管理責任者が相談支援事業所と連携し担当者会議を行っている。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	9	1	-	-
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	-	-	-	該当なし
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	-	-	-	該当なし
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8	2	-	当事業所で行ってきた支援状況等について、電話や書類等で提供し共有をしている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	9	1	-	当事業所で行ってきた支援状況等について、電話や書類等で提供し共有をしている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	3	-	毎年、発達センターで行っている研修に参加している。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	3	6	感染症対策として交流の機会がないため、時期を見て検討していく。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	2	3	5	地域情報を収集し、参加していくようにする。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9	1	-	-
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	7	3	-	当事業所では、外部団体と協力しペアレントトレーニングを行っている。

保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9	1	-	利用契約の際に運営規定や料金に関して詳しく説明している。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	9	1	-	レッスンの状況にもよるが、場所を確保し都度相談できる体制を整えている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9	1	-	-
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	4	-	時期を見て開催していく。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	2	-	LINEを使い、都度周知している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	1	6	3	LINE等を活用して情報発信をしていく。また、情報発信の手段について、職員に都度周知していく。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	9	1	-	個人情報の含まれるものに関しては、鍵付き書庫に保管している。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9	1	-	-
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	3	5	地域との繋がり、保護者同士の繋がりを持つための方法を検討していく。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	4	3	3	マニュアルを目の通しやすい位置に配置し、共通理解している。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	4	2	シフトの都合上、訓練に参加出来ない職員がいるため、日程調整をしていく。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	7	2	1	利用開始の際にアセスメントと合わせて情報収集し、各レッスンの際に近況として情報収集している。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	5	2	食事場面を設定していないので食物を口にすることは少ないが、アレルギーについて事前に確認し、必要に応じて対応している。職員間での周知が不十分であるため、再度周知していく。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	10	-	-	事例集を作成し職員会議の際に共有している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10	-	-	虐待防止に関する委員会を設置している。また、毎年決めた月に研修を行っている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	6	4	-	虐待防止と同じく身体拘束に関しても研修を行い事業所内で共通理解している。また、保護者に対しても利用契約の際に緊急やむを得ない身体拘束に関して説明している。

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。